

# ムカシの競馬を読む

平成17年・東京競馬場  
ジャパンカップ<sup>®</sup>  
優勝馬：アルカセット

© JRA



「株式専門紙に競馬欄が登場！」  
日本証券新聞は、このほど『馬劇場』と名付けた中央競馬ページを新設した。秋のG1シリーズ最終戦・有馬記念まで継続する（中略）毎日新聞も今月4日から夕刊に『ウマウマうまるんど』と名付けた大型競馬欄を新設した。今後は、週末に継続掲載する」

一競馬や競輪、競艇など全国の公営競技場122箇所が、きょう1日から暴力団、ノミ屋の締め出し作戦に一斉に乗り出した。締め出し作戦の発端になつたのは、例の山口組vs一和会の対立抗争（中略）各公営競技場が暴力団追放で足並みを揃えることは前代未聞だが、なにしろ相手は「けんかのプロ」、競技場職員と暴力団の間ですでにト

競馬が売り上げピークに向かっていったこの頃、メディアにもいろいろな動きがあった。7日付のサンスポ

最後に30年前、昭和60年の11

しかし、株や為替をやる人に公営競技をアピールするというのは、いまでも有益なことではないかと思う。それぞれネット取引が主流になつてはいるし、「金を儲けたい」という動機は一緒。しかも株式・為替サイドのほうが客単価が高いため、遊びで少し買ってもらえるだけでも、競馬側としてはありがたい話に

日本証券新聞はラジオたんぱ（現ラジオ日経）と資本関係があるということで、当時存在したラジオたんぱの競馬雑誌「馬劇場」の協力を得てのページ設定だった。いまはどうなっているのか、日本証券新聞を読む機械が無いので分からぬが……。

した。菊花賞の前日とあって、去年

「震災被害で中断していた宝塚市駒の町、阪神競馬場が4日、約9ヶ月ぶりに場外馬券の販売を再開から引用しよう。

統いて 20年前 平成7年の11月。平成7年といえば数ヶ月前の本欄で記した通り、阪神淡路大震災のあつた年。阪神競馬場も被害を受けたが、やっと立ち直りつつあった。11月5日付の朝日新聞阪神版

しても優れているとは限らないものの、  
だが、この馬は配合相手を考えると、その中でもかなり極端な事例だろう。

種牡馬に）。その後はストームキヤ  
ツトの仔を不受胎、ストリートクライ  
イの牡馬が未勝利、ストリートクライ  
ライを不受胎、ストリートクライ  
牝馬が1勝、ストリートクライ牡  
馬が不出走、バーナードイー二牡  
馬が未勝利（2歳で1戦0勝）とな  
つている。恐ろしい……。競走馬で  
活躍したものがすべて繁殖牝馬と

# 須田鷹雄

A black and white photograph capturing a dynamic moment of a horse and jockey performing a high jump over a rail fence. The horse is in mid-air, its front legs tucked under its body as it clears the top rail. The jockey is leaning forward, maintaining balance. In the background, there's a tall, lattice-style tower and some trees under a clear sky.

# ムカシの競馬を読む

# ● 第123回 10年・20年・30年前の11月

今から10年前、平成17年の11月  
というと、アルカセットがジャパンカ  
ップを制した月。ハーツクライなどの  
ハナ差勝負を制したこの勝利は、  
走破タイムが2分22秒1のレコード。  
ド。破られることはないと思われて  
いたホーリックスのレコードが破ら  
れたことで、ファンに鮮烈な印象を  
残した。

前日のジャパンカップダートは力  
ネヒキリが、前週のマイルCSは現  
在アメリカで種牡馬として活躍中  
のハットトリックが制したこの月。海  
外ではマカイビーディーザのメル  
ボルンカップ3連覇といった偉業も  
成し遂げられているが、出来事とし  
ては、敢えて脱力系のこれを選ん  
でみた。平成17年11月8日付の日  
刊スポーツより。

「岩手県二戸市の二戸郵便局総  
務係主任、〇〇容疑者が7日、今  
年6月、局内ではがきの消印を勝  
手に押して偽造したなどとして、有  
印公文書偽造、同行使未遂の疑

ちなみにこの年の宝塚記念といえば11番人気のスリー・ブトウシショウが勝ち、1番人気のタップダンスシチーが着外に消えた年。それをズバリと当たったハガキが遅れ気味に到着したら、懸賞を主催する競馬専門紙のほうでも怪しまれそう

いで岩手県警に逮捕された。競馬予想紙が企画した宝塚記念の懸賞金付き着順当てクイズに応募するためには、がきで、レースの結果を知った後に前日の消印を押し、レース前に投かんしたように装つたとみられる。仕分け棚に偽造はがきを混入するところを同僚に見つかり、発覚してしまった。

なんともセ*七*い話だが、10年前はまだ「消印有効」の懸賞が普通に行われてたということにちょっと驚く（今までももちろんあるにはあるだろうが）。さらに、これが「有印公文書偽造」にあたるというのもちょっと驚く。官製はがきに悪さをした

# 須田鷹雄